

大悲閣^{だいひかく}はあらし山の麓に道ありて、渡月橋^{とげつけう}より七町ばかり西なり。本尊は観音の立像にして恵心^{ゑしん}の作なり。角倉了意^{すみのくられうい}が碑あり、羅山子^{らざん}これを撰す。〔了意^{れうい}は大井河の巖石を截て、北丹波より舟筏を通はし材木の運送を自由す〕